

2024 年 11 月 1 日

東南アジア最大級の見本市「THAIFEX2024」における成約状況について ～9 件の商談が成立～

東北経済連合会（会長：増子次郎 以下、東経連）は、東北・新潟 7 県との官民による広域連携の下、本年 5 月 28 日～6 月 1 日にかけて、タイの首都・バンコクで開催された東南アジア最大級の国際食品総合見本市「THAIFEX-Anuga Asia 2024（タイフェックス・アヌーガ アジア 2024）」（以下、THAIFEX2024）ジャパンパビリオンに出展しました。

本出展は、東北・新潟の 7 銘柄のコメを出品し“東北・新潟県産米が日本のベストクオリティ”というイメージを訴求しながら PR や商談を行い、タイをはじめとする東南アジア等への新たな販路拡大を図ることを目的に実施したものです。（令和 6 年 4 月 16 日お知らせ済）

こうした中、THAIFEX2024 期間中の 111 件の商談のうち、10 月末時点で 9 件の商談が成約に繋がりましたので、お知らせいたします。本出展および商談・成約対応については、木徳神糧株式会社^{※1}の協力を得ております。

これについて、海外バイヤーとの取引を取り扱う木徳神糧からは、「通常、国際見本市では成約率が 2%程度で、今回の約 5 か月で成約率 8%（商談 111 件中、成約 9 件）は非常に高い確率」との評価を得ております。

また、今回の出展を通じて、海外のバイヤーから「コメの品質を良くしたいので東北・新潟のコメに切替えたい」、「タイ産ジャポニカ米（タイで生産される日本米）よりはるかに美味しい」などの東北・新潟のコメを高く評価する声が多く聞かれており、東南アジアをはじめとする多くの国の方々に、東北・新潟県産米の品質の良さ、美味しさを体感いただき、日本のベストクオリティ米として訴求できたものと考えています。

東経連では、引き続き、東北・新潟の強みであるコメをはじめ、魅力ある地域製品の販路拡大・輸出促進に取り組んで参ります。

◆成約情報

（1）タイ：成約 5 件

県産名	銘柄	卸先	数量
岩手県	ひとめぼれ	寿司店	200 kg／月（9 月～）
		寿司店	200 kg／月（9 月～）
		焼肉店	300 kg／月（9 月～）
新潟県	こしいぶき	寿司店	200 kg／月（9 月～）
		焼肉店	200 kg／月（9 月～）

（2）タイ以外：成約 4 件

県産名	銘柄	国名	卸先	数量
岩手県	銀河のしずく	フィリピン	小売りチェーン	7 t
宮城県	ひとめぼれ	カナダ	食品卸	840 kg
山形県	はえぬき	香港	コメ卸	7 t
新潟県	コシヒカリ	シンガポール	飲食チェーン	200 kg



THAIFEX2024 ジャパンパビリオン出展期間中の商談の様子

本出展は、昨年11月の第12回「わきたつ東北戦略会議」^{※2}において、今後2～3年にわたり、新たな販路としてタイ・シンガポール等で輸出拡大に取り組むことを確認し、実施したものです。THAIFEX ジャパンパビリオンへの複数の自治体による広域ブロックでの連携・出展は初めてとなりました。

※1（参考）木徳神糧の概要

- (1) 会社名：木徳神糧株式会社
- (2) 代表者：代表取締役社長執行役員 鎌田慶彦
- (3) 所在地：東京都千代田区神田小川町2-8 木徳神糧小川町ビル
- (4) 資本金：5億2,950万円
- (5) 業務内容：米穀、飼料、鶏卵、その他食品等の仕入、加工、販売並びに輸出入

※2 東北・新潟の各県知事や各県内大学学長などの産学官金トップで構成する会議体。
事務局は東経連（別添）。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

(一社) 東北経済連合会 地域活性化ユニット 食・観光グループ 高橋 TEL：022-397-6343

東経連のこれまでの地域産品の輸出拡大、促進の取組み等は、以下 URL をご覧ください。
<https://www.tokeiren.or.jp/press-release> (東経連ホームページ)

わきたつ東北戦略会議について

1. 開催趣旨

東北・新潟が直面する共通課題に対し、産学官金トップが認識を共有し、具体的な施策を通して地域が一体となって自立的に課題解決に取り組むことを目指して、東経連が2018年に立ち上げた。

2. メンバー

- (官) 青森県知事、岩手県知事、宮城県知事、秋田県知事、山形県知事、福島県知事、新潟県知事
- (学) 弘前大学学長、岩手大学学長、東北大学総長、秋田大学学長、山形大学学長、福島大学学長、新潟大学学長
- (金) 株式会社日本政策投資銀行 代表取締役社長
- (産) 一般社団法人東北経済連合会会長、副会長

3. 過去開催実績

開催年	開催月日	会議回数	議論テーマ
2018年	5月8日	第1回	東北ハウス、若者の還流・定着、地域産品輸出
	11月1日	第2回	東北ハウス、若者の還流・定着、地域産品輸出
2019年	5月14日	第3回	東北ハウス、若者の還流・定着、地域産品輸出、広域交通ネットワークストック効果、地域企業へのAI・IoT導入
	10月30日	第4回	東北ハウス、地域企業へのAI・IoT導入促進
2020年	中止	第5回	(新型コロナウイルス感染拡大により中止)
	10月29日	第6回	ポストコロナ・5つの提言
2021年	4月21日	第7回	兼業・副業人材活用の重要性
	11月16日	第8回	「デュアルライフ東北」の実現に向けた取組
2022年	5月19日	第9回	「デュアルライフ東北」の実現に向けた取組
	11月8日	第10回	農産逸品輸出拡大への取組
2023年	4月24日	第11回	ベンチャー／スタートアップとの連携促進
	11月14日	第12回	農産逸品の輸出拡大への取り組み
2024年	4月16日	第13回	人口減少問題



第12回「わきたつ東北戦略会議」